

案内

待降節 (アドヴェント=Advent)

アドヴェントは「到来」を意味し、クリスマスに先立つ四週間、主イエス・キリストの誕生を迎える心の準備をする時です。この期間、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷は紫色となります。この色は悔い改めを表しています。

STUDENT WEEK

今週はスチューデント・ウィークとして全ての礼拝で、学生の中のクリスチャンの方々に礼拝で証詞をしていただきます。証詞とは、その人がいつどのようにキリスト教信仰を持つようになったのか、キリスト教と出会う前と後では生き方がどのように変化したのかなどを、自分の言葉で語って伝えることです。

今年度は、以下のキリスト教推薦入学生の会、青山みどり会(教育人間科学部)、ピスティス(経済学部)、イクサス会(経営学部)、エルピス(国際政治経済学部)、エクレシア(総合文化政策学部)、スタウロス(社会情報学部)、サピエンティア(理工学部)に所属する学生と、ガーナからの留学生、聖書に親しむ会出席者の計12名が証詞をして下さいます。

ゴスペル・クワイア・クリスマスコンサート

日時 12月8日(土) 18時30分開演
場所 青山学院講堂

東日本大震災の被災地を覚えての祈禱会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共に祈りください。
12月11日(火)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分~13時
相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分~13時

大学聖歌隊クリスマス奉唱会

日時 12月15日(土) 18時開演
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

大学クリスマス礼拝

青山キャンパス(昼間部・第二部合同)

日時 12月18日(火) 18時~19時15分
場所 ガウチャー記念礼拝堂
説教 左近 豊 (聖学院大学人間福祉学部チャプレン、准教授)

相模原キャンパス

日時 12月20日(木) 17時50分~19時5分
場所 ウェスレー・チャペル
説教 高砂 民宣 (大学宗教主任・経営学部准教授)

Wesley Hall News No.110 が発行されました。

各キャンパス宗教センター、礼拝堂で配布しています。ぜひお読み下さい。

青山学院大学礼拝週報

2012. 12. 3.

待降節第1週

No. 28

スチューデント・ウィーク

キリスト教のシンボル [26]

「ろうそくの光」

「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」(ヨハネ8:12) 「光のあるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのか分からない。」(ヨハネ12:35)

クリスマス前の四週間は待降節(アドヴェント)と呼ばれる期間で、「世の光」であるキリストの誕生をこころから待ちわびる期間です。アドヴェントには、古くから、四本のろうそくを立てて、毎週一本ずつに火を灯していき、四本目のろうそくに火が灯ったときにクリスマスを祝うという伝統があります。とくに北国では冬の寒さはじつに厳しく、とりわけ夜は深い闇に包まれます。そうしたなかで一本ずつ灯されていくろうそくの炎は、まさに闇を打ち負かすイエス・キリストの力が益してくることを強く思わしめられます。「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」(ヨハネ1:5)



今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、
忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3、4節)